

相談室ニュースレター 第9号

2025年10月発行

「ハラスメントが起きやすい状況」 総務局相談室長 小岩裕一

●厚生労働省「令和5年度 職場のハラスメントに関する実態調査報告書」

結果を見ると、「過去3年でハラスメントを受けたと回答した労働者」は、パワハラが19.3%、次いで、顧客等からの著しい迷惑行為(カスハラ)10.8%、セクハラ6.3%でした。職場内で、パワハラを受けている人が5人に1人はいる計算になります。

●キリスト教会の現状と対策

キリスト教会においても、ハラスメントは、社会と同じように継続して起こっています。対策としては、社会でも、キリスト教会でも、ハラスメント予防対策を忍耐強く地道に継続することしかありません。キリスト者は、「自分は大丈夫」ではなく、自分の弱さや愚かさを認めつつ、ハラスメントが起きないようにと、主の前にも人の前にも謙遜になり、互いに注意することです。

「他人事」ではなく「自分事」と考えることです。教会内で自分が被害者にならない、加害者にならないことです。困った時には、信頼できる人や相談窓口にご相談してみることが大切です。

●ハラスメントが起きやすい現状

(1)高齢化社会

誰でも、老化現象として、視力、聴力、認知能力の低下から、勘違い、間違い、見落とし、聞き違いが、どうしても多くなります。思わぬ行き違いや齟齬が起きてしまいます。後で訂正できれば良いのですが、そのままであれば、混乱してしまいます。教会でも、高齢者が多くなり、このようなことが増えてきたようです。自分に間違いがあるかもしれないという思いで、他人の助言や注意を謙虚に聞くことが大切です。

(2)コミュニケーションのトラブル

多くの人は、ラインやメールで打ち合わせすることが多くなり、相手のことをあまり考えずに、一方的に送信してしまうことがあります。誤送信や送信忘れなども起こり、関係のない人まで巻き込んでしまうことがあります。このような些細なトラブルが、ハラスメントの種になりかねません。

(3)余裕がない

高齢者は、心があっても体がついていけないことが増えてきます。今、青年・中年の人たちも仕事や生活が多忙になって疲労がたまり、礼拝に来るのがやっとという人も多いのです。このように、教会内が「余裕のない」状態になると、イライラしたり、「怒りモード」になって、ハラスメントが起きやすい状況になってしまいます。職場や家庭でも同じだと思います。

対策としては、ハラスメントが起きやすい現状になっていることを自覚して、ハラスメントを起こさないように「意識」することです。

★ハラスメントは、

他人を支配し、コントロールし、強制すると、加害者になってしまいます。

他人から支配され、コントロールされ、強制されると、被害者になってしまいます。

……誰でも、加害者、被害者になる可能性があります。自分は大丈夫という人はいません。

下記のリストでチェックして、それぞれ気をつけましょう。

支配とコントロールのチェックリスト

()の言うことは絶対だ。
自分の意見や希望を()に伝えるのに、とても勇気がいる。
()がいると、()が帰ってくると緊張する。
()を恐れている。
()がいる前では電話をしたくない。
()を待たせることはできないと思っている。
自分がどう感じるかよりも、()が怒らないかが基準になっている。
予定より遅く帰るなんてできないと思っている。
()の言動に意見できないと思っている。
たとえ間違っていると思っても、()に同調してしまう。
()に自分の本音は言えない。
()が怒り出すと、なんとなかなだめようとしてしまう。
()の機嫌が良い状態であるためには、どんなことでもすると思う。
どんなに自分が楽しんでいても、()の機嫌が悪くなると、もう楽しむことはできない。
自分のほしいものでも、()が良い顔をしなければ買えない。
子どもが()の気に入らないことをするとすぐあせる。



日本イエス・キリスト教団 HP ハラスメント・牧会相談室窓口に掲載

参照文献:『傷ついたあなたへーわたしがわたしを大切にすることーDVTトラウマからの回復のワークブック』



◎ハラスメント相談窓口

お気軽にご相談ください。

小岩裕一(西宮聖愛教会 090-9697-1338)
木村勝志(知多教会 080-9281-1498)

小岩喜代美(西宮聖愛教会 090-8526-1338)
仁科早苗(灘教会 080-3004-0247)